



平成25年 **10月23日**[水] 開場18:00／開演19:00

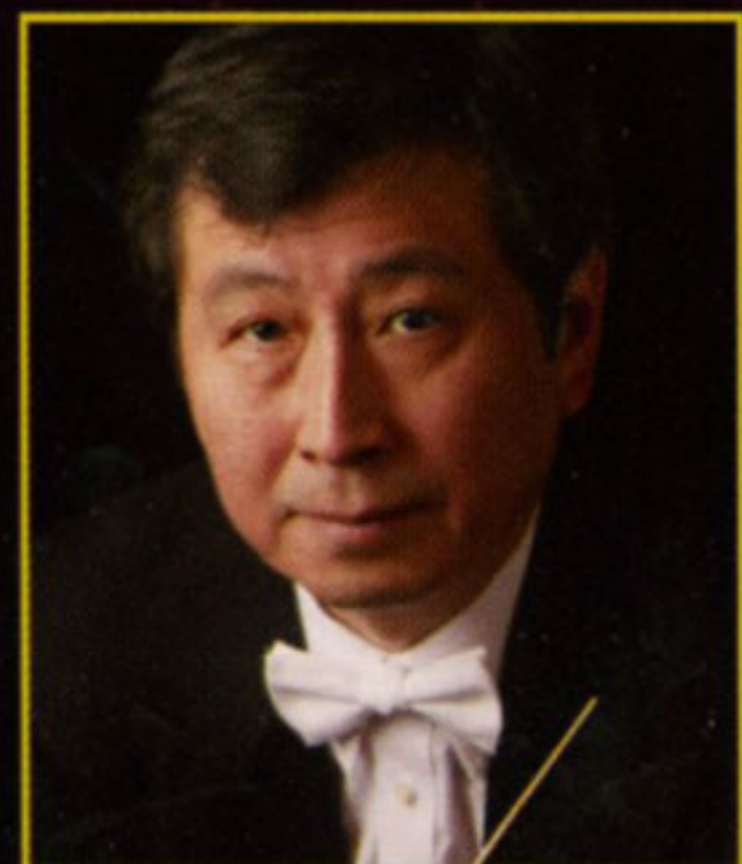
愛知県芸術劇場・コンサートホール

名古屋市東区東桜一丁目13-2

料金：S席3,000円 A席2,000円（全席指定席）※未就学児童入場不可

指揮：**円光寺 雅彦** ヴァイオリン：**川井 郁子**

管弦楽：読売日本交響楽団



Masahiko Enkoji



Ikuko Kawai

鎮守の里

（藤井フミヤ作曲）

（第62回 神宮式年遷宮イメージソング・オーケストラバージョン）

ワーグナー／楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」

第一幕への前奏曲

ホルスト／組曲「惑星」から“木星”^{ジュピター}

（川井 郁子：編曲）

川井 郁子／「追憶の海」～映画「北のカナリアたち」テーマ曲～

モンティ／チャールダーシュ

スメタナ／交響詩〈モルダウ〉連作交響詩〈わが祖国〉より

猿谷 紀郎：委嘱作品

第六十二回 神宮式年遷宮 奉祝曲

交響詩〈^{じょう}浄^{あん}闇^{いの}の祈り 2673〉

主催：伊勢神宮式年遷宮広報本部

後援：神宮司庁／神社本庁／日本商工会議所／一般社団法人日本経済団体連合会／公益社団法人 経済同友会

読売新聞社／財団法人 伊勢神宮式年遷宮奉賛会／一般財団法人 伊勢神宮崇敬会／神社新報社

協力：読売日本交響楽団

●お申し込み・お問合わせ：中京テレビ事業チケットセンター 052-320-9933

●プレイガイド：チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、栄プレチケ、愛知芸術文化センタープレイガイド 他



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

過去も現在も未来も 変らない何かが、 存在する。

— 猿谷 紀郎 —

しき ねん せん ぐう 式年遷宮とは

三重県の伊勢神宮にて、20年に一度、
神さまのお住まいである社殿や神宝を造り替え、
新しいお宮へ神さまにお遷りいただく
神宮最大のお祭りです。
式年遷宮は第41代持統天皇の御代に
始められました。
以来1300年にわたって継承されてきた、
世界に類のない営みです。
本年秋には、いよいよ
第62回 神宮式年遷宮が斎行されます。

伊勢神宮式年遷宮広報本部は、ご遷宮の広報を担うべく、平成16年より活動を続けております。

これまでに神宮PR映像、遷宮イメージソング「鎮守の里」(藤井フミヤ氏作詞・作曲)の制作など、積極的にその活動を展開しています。また、作曲家の猿谷紀郎氏に依頼してご遷宮を奉祝する交響詩を制作し、昨年4月、サントリーホールにて、天皇皇后両陛下行幸啓のもと、完成した交響詩「浄土の祈り」を初演いたしました。

いよいよ本年10月にはご遷宮が斎行され、檜の香も香しい新たな御社殿に神さまがお遷りになります。そこで、このご遷宮を奉祝し、読売日本交響楽団による演奏会を開催いたします。日本人の心の故郷である伊勢神宮に慶びの思いを馳せるひととき、どうか振るってご参加いただきますようご案内申し上げます。

伊勢神宮式年遷宮広報本部本部長
田中 恆清



猿谷 紀郎 : 作曲家
Toshiro Saruya

1960年東京生まれ。慶応義塾大学法学部卒業後、ニューヨークのジュリアード音楽院作曲科に留学、87年同大学院を名誉奨学生として卒業(修士号)。パーシケッティ、ヘンツェ、ナッセンの各氏に師事。これまでに、タンゲルウッド音楽祭、アルスフェルド音楽祭、などの音楽祭に招待され、クーセヴィツキ音楽財団・フェロウシップ賞(88年)、ミュンヘン・ビエンナーレ・BMWミュージックシアター賞(92年)などを受賞。92年<息の綾>を発表。新鮮な作風が話題となり、一躍その名を知られることとなり、93年、第3回芥川作曲賞、第3回出光音楽賞を受賞。同年京響委嘱(ゆららおりみだり)が初演され、第43回尾高賞を受賞(95年)。以降、次々と委嘱を受け作品を発表している。97年、ハケ岳高原音楽祭の音楽監督をつとめる他、2003年ヘンツェのオペラ「午後の曳航」日本語初演(読響主催)の日本語歌詞を監修し、ザルツブルグ音楽祭祝祭大劇場にて絶賛を博した。蘭このみスペイン舞踊公演「桜幻想」(音楽担当)、薬師寺「最勝会」復興上演(音楽監督「鼓音之楽」を作曲)及びNHKFMドラマ「怪し野」(音楽担当)がそれぞれ第58回(平成15年度)芸術祭大賞及び優秀賞を受賞。04年イシハラホール開館10周年記念企画「三井の晩鐘」の音楽を担当。この公演が第4回佐治敬三賞を受賞。05年読響委嘱作品「ここに慰めはない」が第54回尾高賞を受賞。CD化されている作品には「息の綾」「可惜夜舞(あたらのまい)」「結晶からの誘掖」「揺光の嵩まり」「火喰鳥」「風の風韻」(以上フォンテック)、「ときじくの実」「青い地蔵」(以上ワーナー)、「アイテルの食欲」(カメラータ)、「円環の軌跡」(コロンビア)、「透空の薫」(ユニバーサル)がある。現在、大阪教育大学准教授として後進の指導にあたっている。また、NHK-FM「現代の音楽」のパーソナリティを務めている。



円光寺 雅彦 : 指揮
Masahiko Enkoji

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄、ピアノを井口愛子の各氏に師事。1980年、ウィーン国立音楽大学に留学し、オトマール・スウィットナーに師事。1981年に帰国後、東京フィルハーモニー交響楽団副指揮者に就任。1986年より1991年まで同交響楽団指揮者を務める。1989年より1999年まで仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者としてオーケストラの発展に貢献し、その実績は高く評価されている。東京特別公演のライブをはじめ、仙台フィルとの演奏は多数CD化されており、その演奏からも両者の密接な関係を伺う事が出来る1998年より2001年まで札幌交響楽団正指揮者を務め、2000年には、東京公演を指揮し好評を博した。他に、NHK交響楽団読売日本交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団などに客演し、活動範囲を広げている。海外では、1992年プラハ交響楽団への客演をはじめ、1994年BBCウェールズ交響楽団、1995年にはベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、1998年1月にはフランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、それぞれの地で、多くの聴衆を魅了した。国際的指揮者として、現在最も期待されている。2011年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団正指揮者に就任。



川井 郁子 : ヴァイオリニスト/作曲家
Ikuko Kawai

香川県出身。東京芸術大学卒業。同大学院修了。現在、大阪芸術大学(芸術学部)教授。国内外の主要オーケストラをはじめ、世界的コンダクター、チョン・ミョンフンや世界的テノール歌手ホセ・カレーラスなどと共演。さらにジャンルを超えてジブシー・キングス、シーラ・E、バレエ・ダンサーファルフルジマトフ、熊川哲也、フィギアスケートの荒川静香らとも共演している。2008年にはニューヨークのカーネギーホール公演で、アメリカデビューを果たした。自身の音楽世界に加え、独自の表現世界を持ち、舞台と一体化した演奏パフォーマンスで新たな舞踏劇・音楽劇を作り出している。作曲家としてもジャンルを超えた音楽作りに才能を発揮。TVやCM等、映像音楽の作曲も手がけ、2010年には映画「トロロコ」で初の映画音楽を担当し、大阪アジア映画祭で音楽賞を受賞。2012年、映画「北のカナリアたち」の音楽を担当し、第36回日本アカデミー賞で最優秀音楽賞を受賞した。社会的活動として「川井郁子 Mother Hand 基金」を設立。国連UNHCR協会国連難民親善アーティスト、日本ユネスコ国内委員会委員を務める。川井郁子ホームページ <http://www.ikukokawai.com>

読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

読売日本交響楽団は1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創立以来、世界的な巨匠を指揮台に招くとともに、世界の名だたるソリストと共演を重ねている。現在、名誉顧問には高円宮妃久子殿下をお迎えしている。東京・赤坂のサントリーホールでの定期演奏会を軸に7つのシリーズの演奏会を開催。知られざる作品から親しみやすい名曲まで、充実した内容で聴衆を魅了している。こうした活動のほか、社会貢献活動として、公益財団法人「正力厚生会」のがん患者助成事業に協力する「ハートフル・コンサート」を続けるとともに、小中学校での「フレンドシップ・コンサート」、中規模ホールにアンサンブルを届ける地域密着型の「サロン・コンサート」など、クラシック音楽のすそ野拡大に地道な努力を続けている。 ホームページ <http://yomikyoku.or.jp/>

